

# アフガニスタン復興 NGO 東京会議

## 地域別分科会アピール

### D. 東部 カブール周辺

#### 1. 地域の特徴

カブールは過去 10～12 年間の内戦の被害を大きく受け、3 万人が犠牲となった。人口は流入・流出を繰り返しかつての 70 万人から 300 万人に増えた。うち半数の 150 万人が支援を必要としている。インフラストラクチャーの 3 割が完全に破壊され、3 割が修復を必要としている。飲料水不足、衛生維持、地雷、干ばつ、治安の問題も深刻である。雇用機会が少なく移出する人も多い。カブールの灌漑・保健・教育システムは大打撃を受けている。9 月 11 日以降、国際 NGO の多くはカブールを離れた。現在はアフガン NGO の拠点となっている。

#### 2. 目的

- ・ 農業、灌漑、教育、保健、通信の分野における短・中期的な計画を立てる
- ・ 治安回復後、市民や難民が生活を再建するための中・長期的な計画を立てる。
- ・ ドナーや支援機関の協力を求む

#### 3. ニーズ

- ・ ベーシック・ニーズの充足
- ・ 女性の社会参画促進
- ・ 人材育成
- ・ 雇用創出
- ・ インフラ復旧
- ・ 文化保護
- ・ 天然資源の保護と管理
- ・ 保健
- ・ 帰国アフガン人の受け入れ体制整備
- ・ カブールの人口増大問題対策
- ・ 農業・畜産の活性化
- ・ 地雷除去および平和構築

#### 4. 提言

- (1) ベーシック・ニーズ(衣食住)の充足
- (2) 教育(国立の教育施設の再建)

- (3) 人材育成(職業訓練、女性の社会参画促進、雇用創出、公共事業の実施、民間部門の活性化)
- (4) インフラ復旧(家屋、道路、通信手段、病院、大学、学校、下水道)
- (5) 文化保護(史跡の保護、文化アプローチを取り入れた政策実施)
- (6) 天然資源の保護と管理(宝石、鉱山、森林、石油、ガス、水資源)
- (7) 保健(保健サービスの標準化、人材育成、飲料水確保と衛生状況改善、栄養補給)
- (8) 帰国アフガン人の受け入れ体制整備(帰国アフガン人向けの小規模産業の開発、収入向上プロジェクトの実施)
- (9) カブールの人口増大問題対策(住居、移民、雇用対策)
- (10) 農業・牧畜の活性化(土地改良と灌漑システム復旧、換金作物導入、牧畜を通じた収入向上、農業技術改善、土地改革)
- (11) 地雷除去・平和構築(障害者・兵士の社会復帰、帰還民対策、和解促進、地域社会改善、海外のドナーへの支援呼びかけ、地雷敷設者からの情報収集)

## **5. 結語**

アフガニスタンの復興には、子供、女性、障害者を社会のメインストリームに組み込むことを保証する、幅広いアプローチが必要である。また、全ての問題の根源となる貧困を解決することが緊要である。